

メール配信依頼 専用電話番号 080-5804-5871

# 守恒SOSネットワークだより

第10号 平成26年7月15日発行  
守恒SOSネットワーク会議

## 平成26年度 守恒SOSネットワーク会議始動！

平成26年度の守恒SOSネットワーク会議の活動が始まりました。平成25年度の事業報告と決算報告、平成26年度の役員・評議員の委嘱と選任に続いて、事業計画案等が提示され了承されました。以下のとおりです。1.今年度も会議の開催に合わせて、概ね2カ月に1回学習会を行います。2.平成27年2月14日(土)に第3回の搜索模擬訓練を行います。3.SOSステッカー(店舗用と自家用車用)の普及を図ります。4.«もりつネット»にうまく登録できない人がいるようです。携帯のセキュリティが強くて受信できない場合と、システム上の問題で送信できない場合が考えられます。(※該当の方はお手数ですが、守恒市民センターに来館の上、携帯番号とメールアドレスをご提示ください。対応の上ご連絡を差し上げます。)5.今年度の学習会は、任意団体「認知症・草の根ネットワーク」と共催で行います。総会当日は地域の皆さんのほかに、保健福祉局、認知症対策室、小倉南区役所、小倉南警察署、長尾市民センターからご参加頂きました。3年目を迎え、より実りある活動を展開していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

## 地域で見守りができるように② ～JR東海 列車事故を題材に～

このテーマでの学習会は、昨年に続き2回目になります。2007年に発生した愛知県大府(おおぶ)市で91歳の認知症徘徊高齢者が列車にはねられ死亡した事故。事故の当日デイサービスから帰宅後、ひとりで外出して大府駅の改札を通り抜け、下り列車に乗り、次の共和駅で下車。ホームの北端から線路内に入ったと思われます。同居の85歳(当時)の妻は要介護1。今年4月24日に控訴審判決が出ました。JR東海が男性の遺族に振り替え輸送代など約720万円の損害賠償を求めていましたが、男性の妻と長男(63歳)に全額の支払いを命じた一審判決を変更して、妻にのみ「一人で外出する可能性のある男性に対する監督が不十分だったと言わざるをえない」として360万円を賠償するように命じました。

今や認知症は増加の一途で軽度認知障害の人を合わせると平成24年度の統計で862万人を数えます。年間の行方不明は9,607人、死者351人、未発見200人(平成24年度警察調査)にのぼります。徘徊する人は今後ますます増えることでしょう。でも「徘徊NO!」ではなく、徘徊しても死者が出ない。家族が周囲に気遣うあまり、「ご本人の閉じこめ」のような誤った対応をしなくていい世の中になるように、地域から流れを作っていけるといいですね。福岡県内でも、認知症サポーター養成講座を受講する企業が増えているという嬉しいニュースを聞いています。私たちも、「守恒SOSネットワーク会議」の活動を根気よく続けて、誰にとっても住みやすい、誰もが疎外されない、徘徊が原因でいのちを落とすことのない「もりつね」のまちを目指していきましょう。



\*\*\*\*\*

**次回は、10月6日(月)19:30分からです。**

**NPO法人 ANGEL WINGS (エンジェル ウィングス)**

**理事長 藤澤 健児さんをお迎えして、防災のお話を伺ひます。**

**安全確保、避難情報の種類、コミュニティの再構築等、多分野のお話です。**

**※どなたでもご参加頂けます。一緒に学びませんか？**